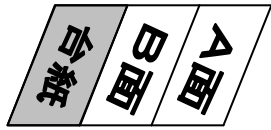
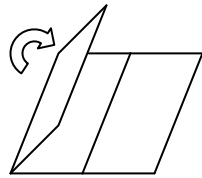


## 折り目のつけ方 注意点 その1



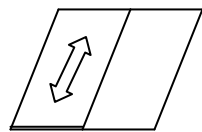
印刷後、折り目をつける際、台紙面とA面はそれぞれ別に折りたたんでください。  
2面同時に折り込まないように注意してください。

①



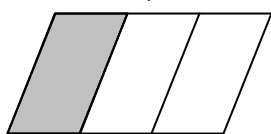
台紙部分を折り曲げて

②



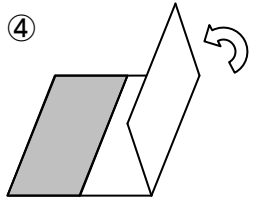
たたんでしっかり折り目をつけます。  
この次に…

③



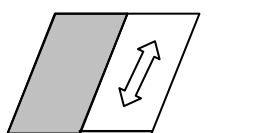
ⓘ << 重要 >>  
折りたたんだ台紙部分を  
いったん戻します。

④



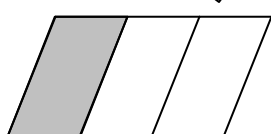
それからA面部分を  
折り曲げて、

⑤



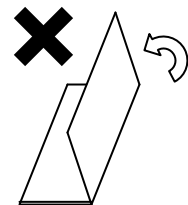
たたんでしっかり折り目をつけます。

⑥

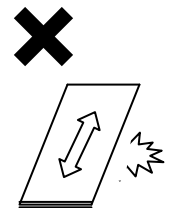


折りたたんだA面を  
いったん戻します。

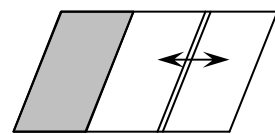
それから台紙の粘着保護テープをはがして、完成させてください。



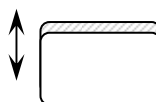
台紙部分を折りたたんだままA面を折り曲げ、折り目をつけるためにプレスしてしまうと…



台紙部分の厚みによりA面とB面の間にギャップができてしまいます。

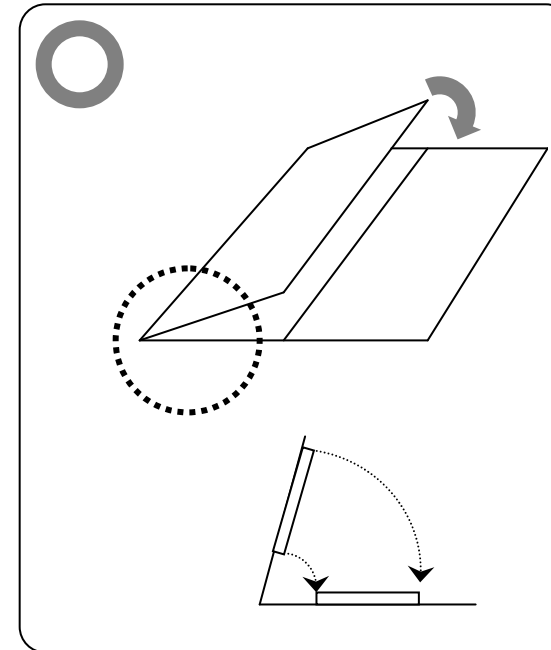


ミシン目によってつながっているように見えますが、カット線(切れ目)が完全に切り離されてしまいます。このギャップがカードを完成させたときの表裏面のズレの原因になります。

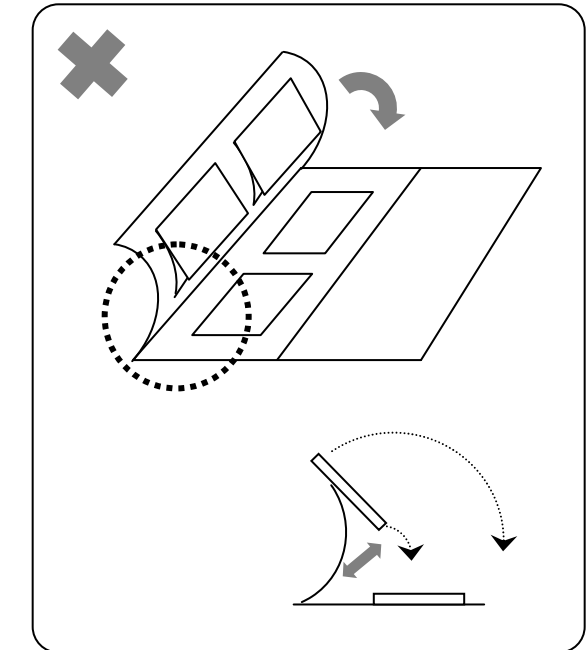


## 折り目のつけ方 注意点 その2

折りたたむ際には、持ち上げた面を湾曲させないで下さい

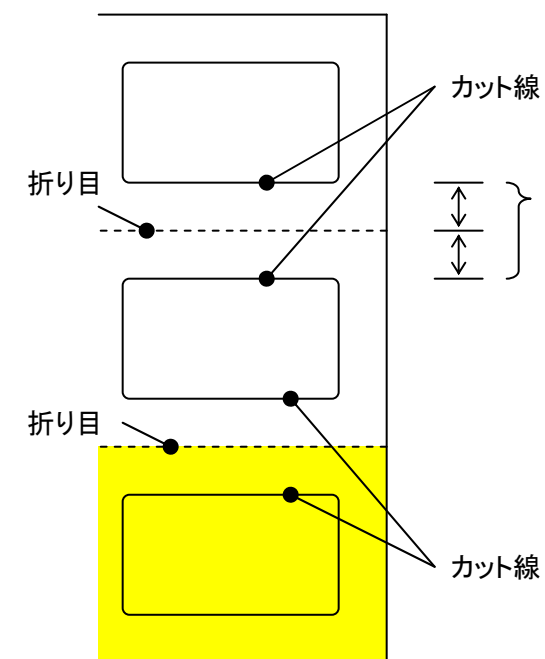


折りたたむ際には面を真っ直ぐに保ったまま折る。



折りたたむ際に、持ち上げた面を湾曲させると、フィールドが浮き上がり、接着点のズレになる可能性があります。

それはなぜかというと…



これらの折り目やカット線の切り込みは、シリンダカッタにより入れられています。シリンダカッタは一体の刃であるため、機械設計上、製造工程で折り目とカット線の距離がずれることはありません。折り目からカット線への距離が常に均一であることにより、折りたたんだ際に、台紙とA・Bの両面がピッタリ合うように設計されています。